

完璧を目指そうとする日本。

最小公倍数なバリアフリー

最低限の保障をする欧米。

最大公約数なバリアフリー

Aさんの要望

Bさんの要望

最大公約数

Cさんの要望

最小公倍数

大切なこと

・ 要望を3つに分ける

- ・ 絶対に必要なこと
- ・ できれば必要なこと
- ・ あれば嬉しいこと

・ 完璧は求めない

- ・ 切り捨てる部分も必要

共通する要望

- 安いこと
- 簡単であること
- 安全、安心、便利

どこにラインを引くのか？
量と質の問題

「使いやすい」と、
「使えない」は、全く違う。

「使えない」ことを、なくすことが先決。

A: 数は少ないが、
「使いやすい」施設が多い。

B: 使いにくいが、
「使える」施設が多い。



どっちがいいかしら？

障害者専用トイレ

代表国：日本

良いところ： 重度の人でも使いやすい。

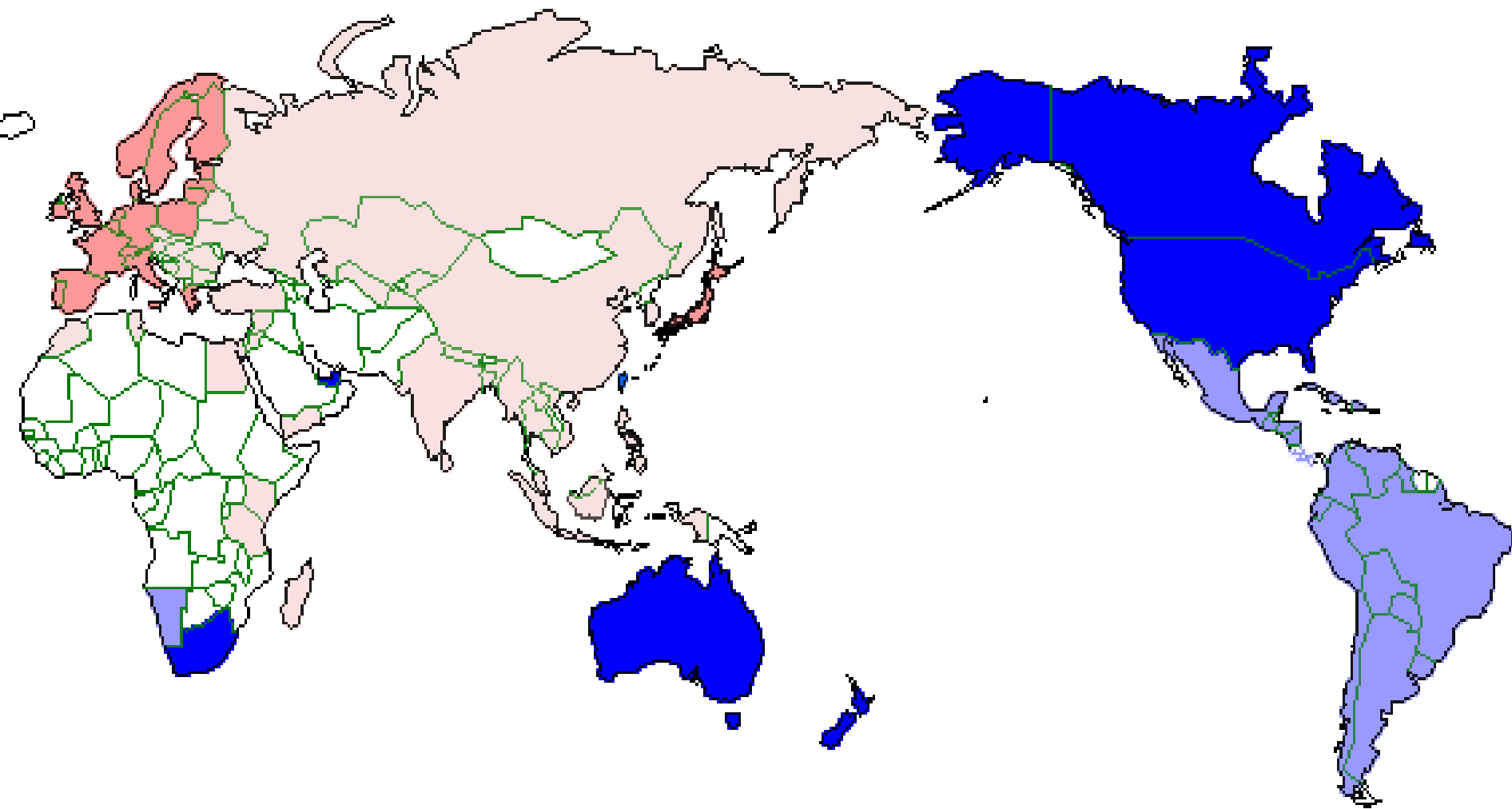
悪いところ： 数が少ない。
設置に、お金も場所もかかる。
管理維持に手間がかかる。

簡易ゆったりトイレ

代表国：アメリカ

良いところ： 数が多い。どこにでもある。
設置に、お金も場所もかからない。

悪いところ： 重度の人は使いにくい。
異性の介護者が入りづらい。

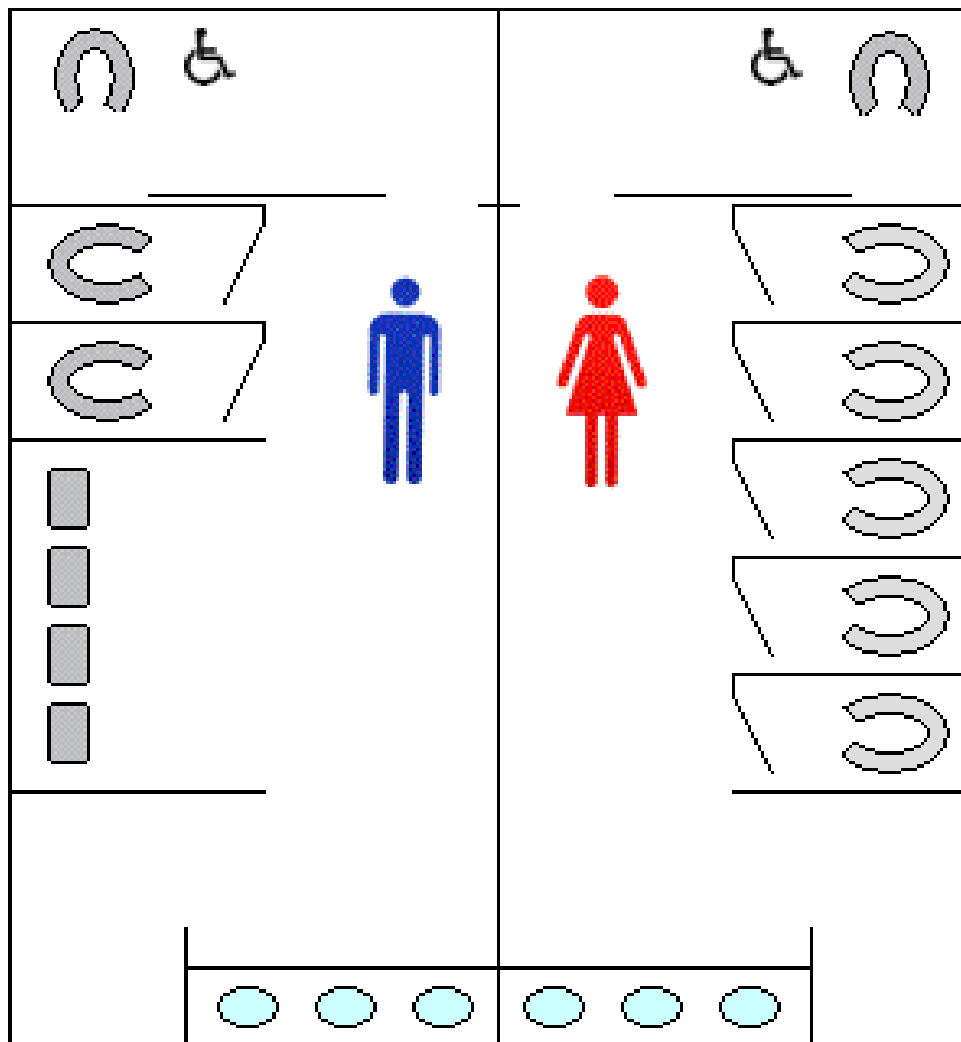


赤色は、専用の独立型トイレが主流の国

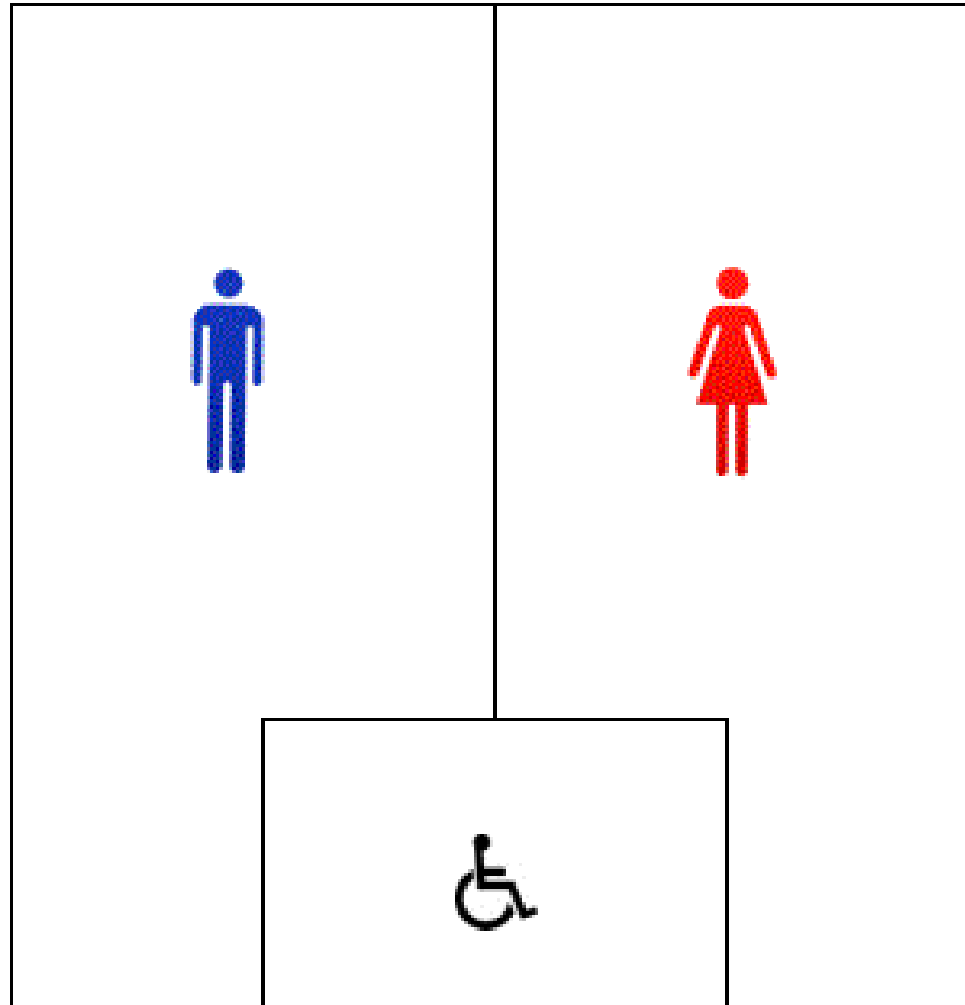
青色は、併用のゆったりトイレが主流の国

薄い色はその傾向。白色は不明。

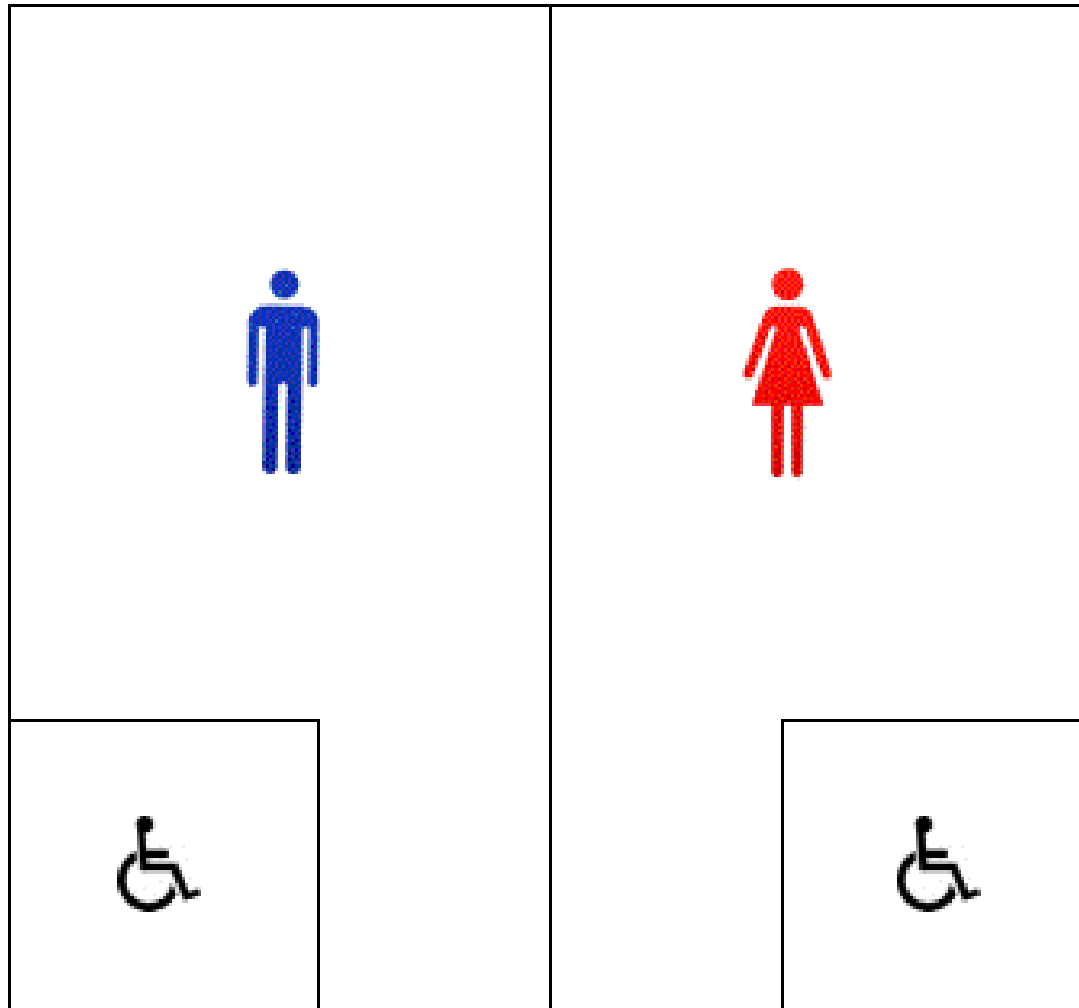
一番奥を車いす対応として広くする (北米、中南米、豪州、南アフリカなど)



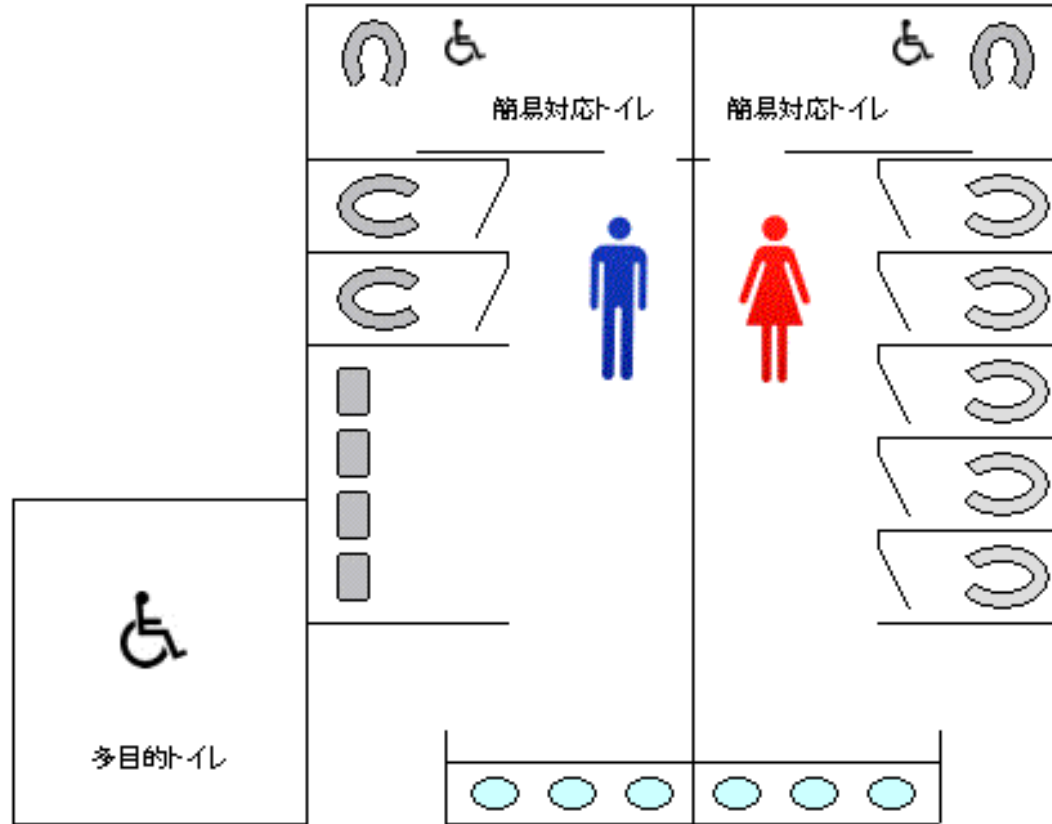
障害者専用トイレを作る (日本、欧州、アジアなど)



多目的トイレとして、数を増やす (最近の日本)



フルスペックの多目的トイレと簡易型、ゆったりトイレの併用



**基本、全てのトイレに、広い簡易対応トイレを設置。
公共施設、重要なところには、フルスペックの多目的トイレを作る。**